

## 操作された旱魃の終末を迎えたカリフォルニア

Dane Wigington (GeoengineeringWatch.org)

January 24, 2014



“黄金の州”と呼ばれたカリフォルニアの大部分が、いま渴き、ひび割れ、歴史上前例のない、ひどい乾燥状態が続いている。貯水池はほとんど空となり、流れは干上がり、森林は日に日に死につつある。破局的な火災もまた、操作された旱魃のために次々にカリフォルニアを襲っている。

この州には2013年を通じて、ほとんど雨らしいものは降らなかった。なぜだろうか？ 答えは簡単で、“天候戦争”が人々に対して仕掛けられていることに気づけばよい。気象操作は、全体的な地球の降水総量を減少させる（ただ、局地的な豪雨を起こさせもするが）。意図的な旱魃は、ずばり、天候戦争である。すでに大量の情報攪乱が出回っている。それは日増しにひどくなっている。最も大きな“代替ニュースサイト”できえ、あるものは、干ばつと“地球冷却”について記事を載せながら、気象操作には全く触れないことによって、グローバル・エリート（イルミナティ、「陰謀団」）の意を迎えている。しかし一方において、これら同じニュースサイトが、気象操作のことは知っていて、自分たちはそれには反対だと言っている。どちらなのか？ 気象操作計画のことは知っていると引き、気象についての記事を次々と載せながら、気象操作という部屋の中の象についてひと言も述べないとは、どういうことなのか？ これらの代替メディアサイトの記事は、すべての混沌とした天候はただの「通常のサイクル」だと言っている。これはメディア連合がやっていることと同じである。だからこれら代替メディアサイトは、どちらの側につこうというのだろうか？ 完全に操作された気象システムの中の、どこかの天候が「通常」ということがありうるだろうか？

これで行き止まりなのだろうか？



多くの人々がついに、天候にはどこか非常におかしいところがあるという事実に気が始めた。多くの人々がついに、我々の空で何か深刻なことが起こりつつあると理解し始めた。一部の人々は今やついに、致命的な気象操作計画の認識を高める闘争に参加する決意をしているが、我々はすでに手遅れなのだろうか？

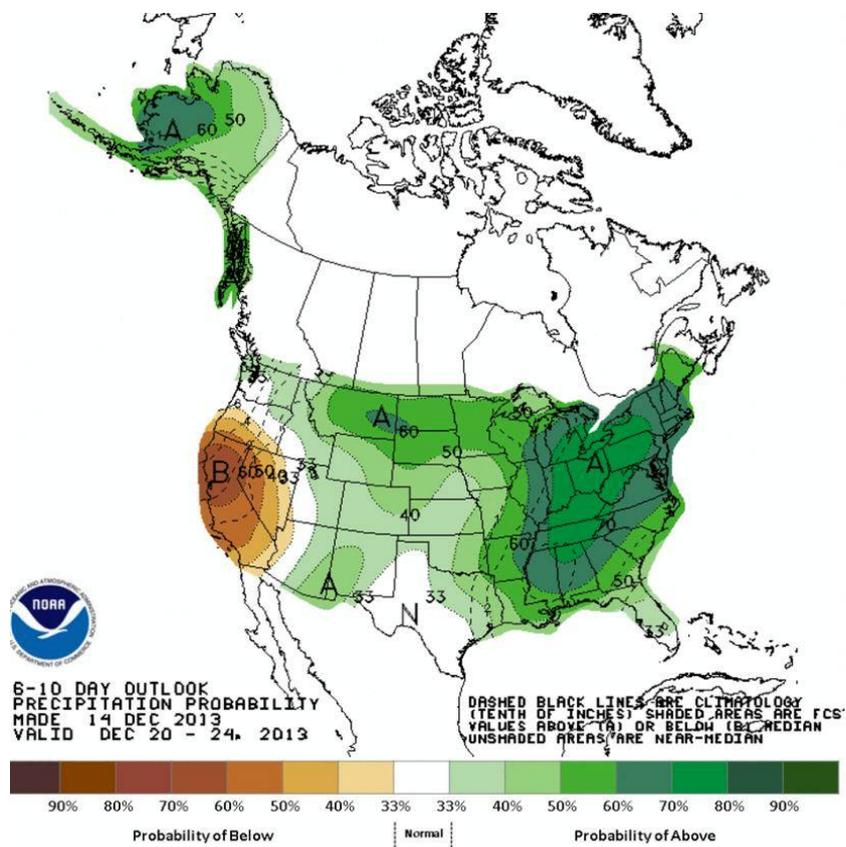
気象操作をする者たちはすでに、地球の自然のシステムを、もはや戻れないところまで押しやったのだろうか？ あらゆる利用可能なデータからすれば、答えはイエスだと言わねばならないようだ。気象操作を含めて、人間による活動によって我々の惑星にすでに加えられた損傷は、我々がこれまで知っていた住みよさを、はるかに下回るものになっている。未来がどんなに困難にみえようとも、それでも我々は、気象操作を止めることができれば、生命を支えるこの惑星の能力を維持することはできるだろう。

自然の天候ではない

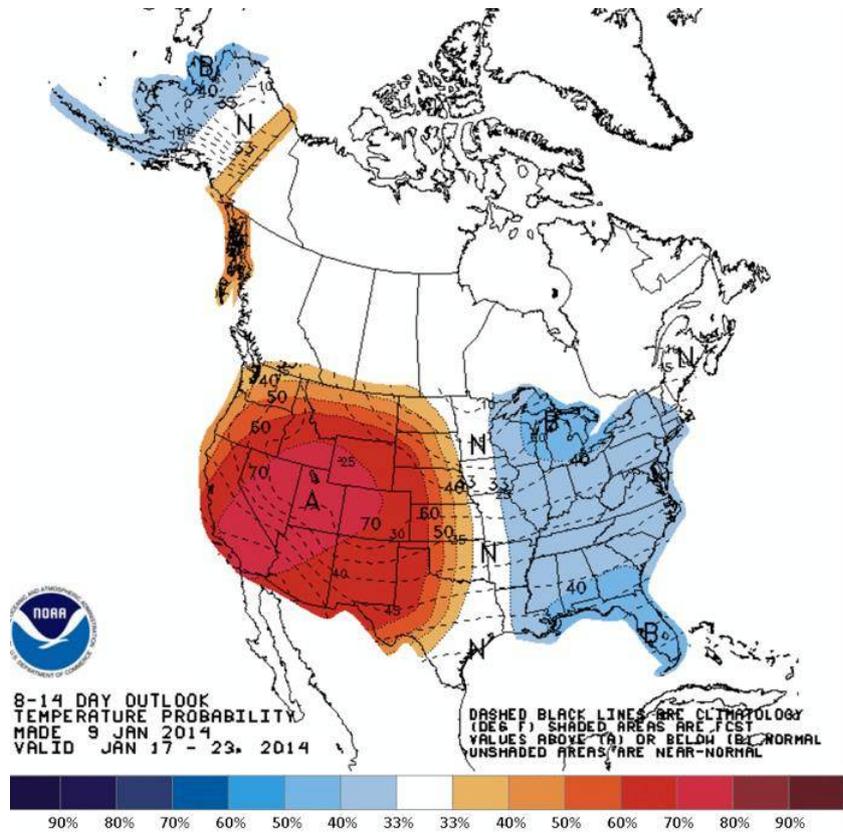


絶対に必要なことは、地球のすべての人々に、ほとんどすべての彼らの“天候”は完全に操作されているということを理解させるために、一緒になって行動することである。つまりこの時点において、**自然の天候というものはない**ということである。我々はすべて“天候戦争”の犠牲者であり、我々の多くは、もし我々が気象操作の事実を明るみに出して、これをやめさせなければ、ごく近い将来に**気象難民**になるということである。しかもその上に、我々すべては、こうした計画による有毒な金属降下物によって、文字通り毒漬けになっている——しかしそれはまた別の問題である。

### カリフォルニアを標的とする操作された旱魃（ひでり）



上の最近の NOAA 地図は、降水量あるいはその少なさの、前例のないパターンを示している。国土のほとんど全体が、通常の降水量以上であることを示しているのに、カリフォルニアだけは、通常以下の降雨の“的の中心”として予定されていたかのように見える。この地図から人はそれぞれ結論することができる——このパターンが果たして自然なものに見えるだろうか？

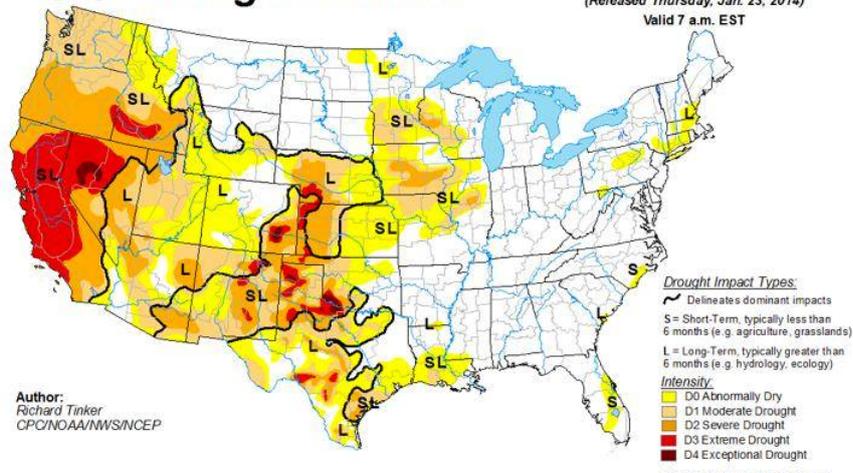


上の NOAA (気温) 地図は、ほとんど可能な限り異常である。地球気象操作へようこそ。

Home

## U.S. Drought Monitor

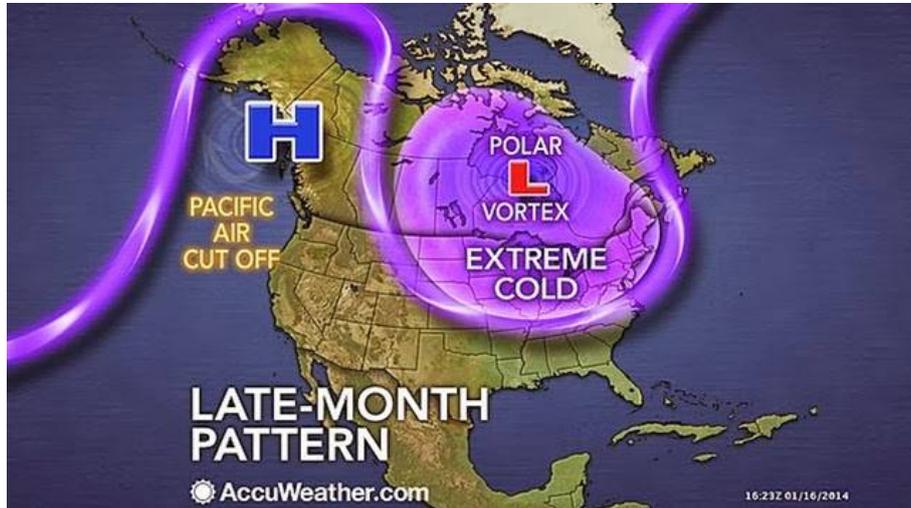
January 21, 2014  
(Released Thursday, Jan. 23, 2014)  
Valid 7 a.m. EST



西部の旱魃の本当の過酷さは、上の“旱魃モニター”地図には正確に反映されていない。現実の地表の条件は、カリフォルニアが過去7年間、ますます悪化する旱魃に落ち込んでいくにつれ、遥かにはるかにひどいものになっている。この季節は今日まで、雨と言えるようなものは全く降っていない。

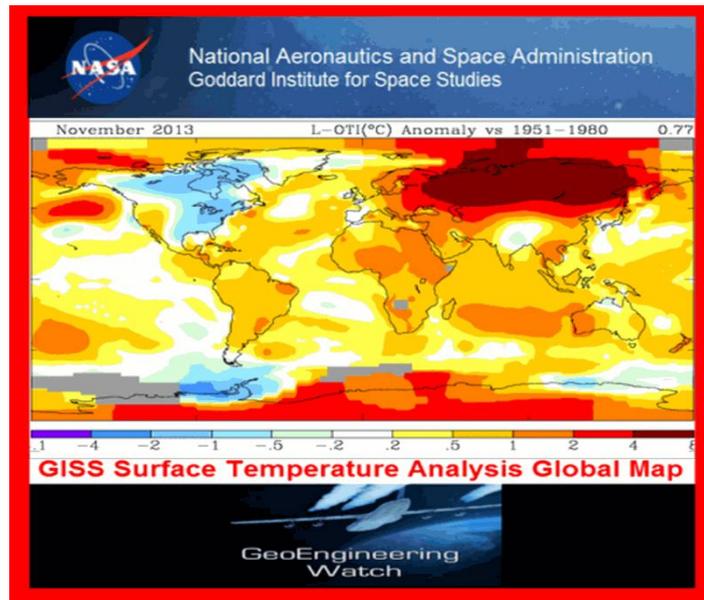


絶え間ないエアロゾル散布と、イオン圏ヒーター（HAARP、上の写真）をコンビで用いることによって、気象を操作する者たちは、水蒸気がカリフォルニアに流れてくるのを効果的に遮断している。なぜだろうか？ 考えられるいくつかの理由がある。一つは、カリフォルニアは、おそらく気象の“犠牲ゾーン”である。これは、カリフォルニアが副次的損傷（collateral damage）であって、アメリカのもっと東部で、人工的につくり出された吹雪が絶えず起こっていることに付随するものであることを意味する。気象操作をする者たちがアメリカ西部と東太平洋上空に固定させた、雨をブロックする高気圧の峰が、ジェット気流をまっすぐ北に押しやり、それは水蒸気を一緒にもっていくので、雨がカリフォルニア近くにやってくることができなくなっている。この水蒸気はやがて、アラスカや北極までも移動していく。ジェット気流はそこで、南へ戻されるが、そのときそれは HAARP/イオン圏ヒーターがつくり出した高気圧のドームを、時計回りに包みこむように廻っていく。そのときそれは、ずっと下のアメリカ南部にまで押し出され、そのさい、それは濃密に散布物質を含む、化学的に氷を核とする水蒸気を一緒に運ぶので、それがアメリカ南部の人工的な冷却効果を高めるのである。



このパズルの反面は多分こういうことでもある——水もなく、どんな食物も作れない人民たちは、効果的にその政府の犯罪に抗議できるような立場にはないと見込める。カリフォルニアは歴史的に、国のために大量の食糧を生産してきたので、この破局的な旱魃は非常に広範囲な波及効果をもつ。食料供給を支配すれば、人民を支配できる。これとともに、カリフォルニアや他の西部地域では、政府による水利権を手中にしようとする試みが増加している。気象操作をする者たちは、文字通りカリフォルニアの喉元を押さえていて、彼らがやがてその手を放そうとする様子は見えない。天候メーカーたちは、カリフォルニアを頭から尻尾まで干からびさせて、砂漠にすることができる。我々はすでにその道程にある。わずか十年前に緑したたる豊かだった森林は、今はしおれ、枯れ、多くの場所ですでに死んでいる。気象操作によって起こされた、カリフォルニアのほとんど全面的な枯渇に加えて、気象操作計画に用いられたジェット噴射によるエアロゾルは、乾燥材である。これらは、大気中のすべての水蒸気に付着する物質なので、多くの条件下で地表の水分を極端に奪い、すでに乾いたこの州をさらに乾燥させている。そこへもってきて、持続的な高気圧に伴う恒常的な記録破りの高温が加わることになる。すべてを考慮して、これは、かつて美しかった州を砂あらし地帯にする見事な処方箋である。それはこの州の住民たちをひざまずかせる方法である。

彼らの究極の目的は何か、この惑星をどれくらい冷やすつもりなのか？



上の NASA による地表気温分析地図を見れば、彼らが“冷却”状態をつくり出そうとするとき、何が一番の焦点なのかが明らかになるはずである。この地図は、30 年間の平均と比較した最近の温度の傾向を現わしている。この NASA の地図は、長期平均に対して惑星の“より寒い”場所だけを明瞭に示している。これらの通常以下の温度の領域は、上で述べたような大々的な気象操作の試みの直接の結果である。この地図の温度の変動が不自然に見えたとしたら、それは現に不自然だからである。アメリカのメディアは、民衆に対し、世界が深い凍結状態にあると、狂気じみた説得をしようとしているが（そしてかなり成功しているが）、これは地球的に見れば明らかに虚偽である。気象操作をする者たちが地球の自然の生命維持システムを文字通り引き裂こうとすれば、温度と条件の極端な揺れは、今後も継続し悪化するだろう。彼らは巨大な領域を極端に冷やすことができ、現にそうしているが、それは極端に悪化した全体的温暖化と、完全に痛めつけられた気象システムの犠牲においてである。

### 我々に何ができるか？

あらゆる人々が、この危急存亡の戦いに参加でき、参加しなければならない。すべての人が立ち上がって、世間の意識を高める肝心の努力をしなければならない。あなたの地域の他の人々と組織を作るべきである。知識を身につけ（これは本当のデータを調べることで、見出しを読むことではない）、人に教えるべき確実な情報を得て、映画製作者 George Barnes の“Look Up”のようなドキュメンタリー映画を勧めるなど、警鐘を鳴らすあらゆる方法を試みよう。もし我々が、気象操作という犯罪行為を明るみの下に引き出し、大衆を十分に覚醒させることができれば、この計画を実行させているドミノは倒れ始めるだろう。